

救急科専門医

設定団体

日本救急医学会

(新制度は日本専門医機構が担当)

専門医制度設立年

2003年4月

取得者数

5,602人

(2022年1月14日現在)

設立経緯・目的

病気、けが、やけどや中毒などによる急病の方を診療科に関係なく診療し、特に重症な場合に救命救急処置、集中治療を行うことを専門とする。病気やけがの種類、治療の経過に応じて、適切な診療科と連携して診療に当たる。更に、救急医療の知識と技能を生かし、救急医療制度、メディカルコントロール体制や災害医療に指導的立場を発揮する。
(学会ホームページより抜粋)

ホームページ

<https://www.jaam.jp/index.htm>
1

取得条件

3月末までに救急科領域専門研修プログラムを修了する者(以下の項目を救急科専門研修管理システムに登録必須)。

1. 症例実績(必要経験症例数171例)。
2. 救急科領域での学会発表(筆頭演者として1回以上)。
3. 論文発表1回(筆頭著者もしくは重要な貢献を果たした共同研究者としての共著者)
または、日本救急医学会が認めるレジストリ5例以上の登録
4. 専門医共通講習の受講各1回(医療安全講習、感染対策講習、医療倫理講習)
5. ICLS(AHA-ACLSを含む)受講(1回以上)
6. 年次自己評価
7. 指導記録フォーマット(360度評価)

試験内容

書類審査、筆記試験

提出書類内容

1. 救急科領域専門研修プログラム専攻医 救急科専門医申請書 正1部
2. 救急科領域専門研修プログラム修了証明書 正1部
3. 医師免許証のコピー(A4サイズに縮小可・白黒可) 1部
4. 申請手数料の入金証明(ATM利用明細、送金完了画面等)コピー1部

更新

5年満期。有効期間内に更新手続きが必要。